

【家庭教育支援チーム】

チーム名	東川町家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成25年度
活動拠点	東川町公民館、東川町地域交流センター
活動範囲	東川町内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>8</u> 人 コーディネーター1人、家庭教育支援員2人、その他5人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を活用した親子参加型体験プログラムの実施 活動拠点である地域交流センターにおいて、外出がしづらくなる冬季に親子参加の食育プログラムを実施している。みそ作りやもちつきなど子どもにとって身近な調理を体験しながら、交流の場を提供している。 ・ 支援員の配置による家庭学習機会の提供 地域交流センター内で、子どもたちの宿題や家庭学習の指導をしながら、今児童が置かれている状況を把握している。また、子どもを迎えに来た保護者に対して、規則正しい生活習慣の定着や日常的な家庭学習の内容、長期休みの自由研究について相談に乗ったりしている。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子参加型体験プログラムの食というテーマは親子の会話を促進するとともに、保護者同士の情報交換や交流の場を創出するには最適であった。参加者からは継続実施して欲しいと要望が出ている。 ・ 家庭学習機会の提供は保護者より、宿題が習慣化し、家庭学習に取り組む姿勢が見られるようになるなど家庭学習に対しての不安が解消されたなどの意見があった。
活動において苦勞した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者は常に不足しており、人材の確保は大きな課題となっている。 ・ 児童の保護者に対するアプローチは共働き世帯が増加している中においては機会を創出することが難しいと感じている。

今後の活動目標	・食を中心とした活動は親子の興味が高いことから、今後は夏季においても講座にも取り組んでいきたい。
問合せ先	(部署・氏名等) 東川町教育委員会 小林 峻 (住所) 上川郡東川町東町1丁目15-3 (TEL) 0166-82-2111 (E-mail) gakusya.renkei@town.higashikawa.lg.jp